

# 梁のスカラップをノンスカラップにしたい！

パラメーターでスカラップの変更ができます。

【ファイル】 - 【パラメーター】をクリックします。 【データ作成】 - 【37.柱、梁作成関連】 - 97) 溶接スカラップ の  をクリックし、設定を開きます。

項目名称	設定値	
94	上コーナーR(mm)	10
95	下コーナーR(mm)	10
96	上部コーナーR(mm)	10
97	溶接スカラップ	<input type="checkbox"/>
98	現場溶接スカラップ	<input type="checkbox"/>
99	突合せ溶接スカラップ	<input type="checkbox"/>
100	ノンスカラップ切り落とし幅(mm)	0
101	ノンスカラップ切り落とし高さ(mm)	0
102	ノンスカラップダイヤ縁のすきま	2
103	スカラップ形状判定幅	100
104	スカラップ形状判定幅鋼材弱軸	0
105	スカラップ有無判定幅	35
106	柱ガセットスカラップ【ロール材】	

スカラップの項目を「5 - ノンスカラップ」にします。

指定値以下 (WH ≤ 300 / FH ≤ 150)		指定値より大 (300 < WH / 150 < FH)	
スカラップ	5 - ノンスカラップ	スカラップ	5 - ノンスカラップ
スカラップ径1	10	スカラップ径1	10
スカラップ径2	35	スカラップ径2	35
メッキ塗装形状	3 - 円弧-円弧2	メッキ塗装形状	3 - 円弧-円弧2
スカラップ径1	10	スカラップ径1	10
スカラップ径2	35	スカラップ径2	35

直線-円弧時の角度: 35



判定値となるウェブサイズ・フランジサイズを設定することで梁サイズによりスカラップ種類を分けることができます。

ウェブサイズ・フランジサイズの両方に設定値を指定させ、スカラップ形状がどちらにも該当する場合は『指定値より大』のスカラップ形状を優先します。ウェブのみ、またはフランジのみサイズを参照してスカラップ形状を決めたい時は、参照しない側のサイズへ「0」と入力します。

【OK】をクリックします。



溶接スカラップをノンスカラップにした場合は、【パラメーター】 - 【データ作成】 - 【37.柱、梁作成関連】 - 100) ~102) で切り落としやすきまの設定をします。

100 ノンスカラップ切り落とし幅(mm)  
101 ノンスカラップ切り落とし高さ(mm)

102 ノンスカラップダイヤ縁のすきま